

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立城陽支援学校 】

1 実践テーマ	【Ⅲ】
2 実施対象者	本校高等部ソフトボール部生徒（4名） 井手町在住在勤社会人（12名×4チーム）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（井手町ソフトボール大会） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	・地域にある運動クラブとスポーツを通して交流し、地域社会に積極的に参加し、生涯スポーツを意識し、将来の共生社会に寄与する資質を養う。 ※昨年度同様に「ゴールボール」の日本代表強化合宿の交流を予定していたが、本年度は本校での合宿が行われなかった。数年前に会場となった際に、強化選手の方々に寄せ書きをいただき、体育館前に飾っているが、機会あるごとに、生徒へ紹介している。
5 取組内容	<井手町主催のソフトボール大会> 11月10日（日）、本校ソフトボール部が出場。井手町在住在勤の社会人の方で構成されるチームとトーナメントを行った。 <地域のスポーツ大会への参加> ・京田辺市陸上大会（陸上部） ・城陽市陸上大会（陸上部） ・城陽市卓球大会（卓球部） ・久御山町マラソン（陸上部・参加希望生徒） ・城陽市マラソン（陸上部・参加希望生徒）（予定） <障害者スポーツ大会への参加> ・第39回全京都障害者スポーツ大会 卓球大会（卓球部） 水泳大会（陸上部） 陸上大会（高等部全生徒） ・京都障害者チャンピオン卓球大会（卓球部） ・第5回京田辺レーヴチャレンジカップ～フレンドリーカップ～ 知的障害のある高等部生徒や地域の社会人とのフットサル大会（参加希望生徒）

<ボッチャ>

・「ほっと（重心教育部）」を中心に取り組んだ。それぞれ教育部で体験してから、教育部の交流として実施した。「ほっと（重心教育部）」の児童生徒の実態に合わせながら、競技方法を工夫して互いに楽しむことができた。



6 主な成果

<井手町ソフトボール大会>

昨年度、本校チームが勝利したチームと当たり、本年度は1回戦で負けてしまったが、日頃の練習の成果を発揮することができた。地域の方と楽しくスポーツをとおして交流ができた。本校の生徒のプレーに暖かく声をかけていただいたり、真剣なプレーで分け隔て無く互いに汗をかくことができ、インクルーシブな社会（共生社会）の構築につながられた。

<地域のスポーツ大会への参加>

地域の小・中・高校生、一般の社会人ともに参加し力を発揮した。大会によっては、社会人となった卒業生も個人で参加されており、生徒達も将来の余暇活動の一つとなる。

<障害者スポーツ大会への参加>

京都市立を含む、他の特別支援学校の生徒だけではなく、社会人の方も参加されており、大きなスポーツ大会を体験する事ができた。全国大会に選ばれた生徒は、校内で壮行会を行い、京都府代表としての自覚をもって大会へ出場を目指したが、台風の影響で大会が中止となり残念であった。

<フットサルの大会への参加>

大学生のチームや、市役所・町役場の職員チームと汗を流した。社会人のチームもあるなか、3位となり参加生徒はとてもよこんでいた。地域の方とのスポーツに対して、楽しさと期待を持つことができた。

<ボッチャの取組>

まず、ボッチャに親しむことから始めた。競技について触れ親しむことができ、教育部の交流として障害の程度を越え、一緒にスポーツに参加することができ、互いに楽しむことができた。今後は、校内から地域の方々との交流にも広げていきたい。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>様々な地域のスポーツ行事に参加するために、情報を集める事や地域の自治体、スポーツ団体と連携することができた。</p> <p>生徒へのアナウンスや参加に向けての事前指導をていねいに行った。</p>
8主な課題等	<p>「パワーリフティング」のイベントが学校の隣の会場で行われたが、他の行事と重なり、生徒へのアナウンスや参加を促すことができなかった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>今年度参加した各大会への出場だけでなく、地域でのスポーツ行事への参加を増やしていきたい。</p> <p>今年度できなかった、他の高等学校との合同練習などの交流を行いたい。また、合同練習ができた相手校の公式戦の応援など、本校の生徒があじわったことのない経験へもつなげていきたい。</p>